

TOKAMACHI

市報

とよまさち

12.10

●第927号●平成16年(2004) December



「サンタさん、お願い！」
もつすく待望のクリスマス。子どもたちはプレゼントを待ちわび、ツリーに飾りつけをしていきます。慌ただしい師走の中でも、聖夜は温かくそして楽しくありますように。



●主な内容

- 中越大震災、それぞれの10.23……………2～7
紹介します！
- 新しい民生委員・児童委員……………8・9
- 雪処理にご注意・ご協力を！……………10
- 年末の交通事故防止にご協力を……………11



調理場は落ちた食器で足の踏み場もない状態でした。ただ、幸いなことに100人分の食器類は料理に使われ広間に並べられていたため、ほぼ無事でした。



二ツ屋の土砂崩れは県道（主要地方道十日町一塩沢線）を埋め尽くしました。現在は迂回路が作られ通行可能です。



旅館には100人以上のお客様がいました。地震直後、全員がロビーに集まり外に出ました。余震で建物が揺れるのを、ただぼう然と見ていましたね。

お客様は街までバスでピストン輸送しました。最初は何か行っただけのもの、以降は土砂崩れで道路が通行不能になり、残ったお客様には懐中電灯とお菓子を渡して真っ暗の中、田んぼの畦などを歩いていただきました。その日は近所の人とバスの中で一夜を明かし、翌日から六箇小学校に避難しました。

避難指示中は先が見えず、とても不安でした。指示がいつ解除されるかよりも、どんな調査をして、その結果どんな状況になったら解除されるのかといった情報が欲しかったですね。解除後、旅館をあらためて見てみたら、玄関に100人分のスリッパが散乱していましたよ。

旅館は12月1日から再開しました。避難しているときから、絶対に再開すると決めていたんですよ。地震後、お客様からたくさんの電話をいただき、物資や見舞金も届きました。本当にありがたかったです。これからは、今まで以上にお客様と仲良くし、人間的なつながりを深めたいですね。



俵山進三さん・美津子さん
(二ツ屋・ともに53歳)

地震後、すぐに町内の団員4人で消防団活動を始めました。まず、町内の高齢者世帯の安否と電柱や電線の状態を確認しました。巡回中、10年前の中条病院の防火訓練の際、「地震災害は火事とは違い消防は来れるとは限らない」との消防署員の話の思い出しました。きっとパニックになっているぞというこ



榎沢英和さん
(中条新田・47歳)

とで、北原の団員や消防団OBと合流し、約20人で病院に向かいました。病院に入ると、医師の指示で入院患者を一般病棟から隣の老健きたはらへ移す作業を始めていました。移送中は、余震で天井の蛍光灯がどんどん落ちてきました。今思うと無我夢中でしたね。ただ、患者は高齢者が多かったですが、あの地震でも落ち着いていたのには驚きました。日ごろの訓練がいかに大切か身にしみました。最悪の場合を想定して訓練しておけば、いざというとき柔軟に対応できると思いましたがね。



水落俊太さん
(飛渡第二小6年)

地震がおきてすぐに台所のテーブルの下に隠れました。すごく驚いてずっと隠れていました。3回目の地震の後で外に出たら、近所の人もみんな出ていました。そこらじゅうの家が壊れていてびっくりました。学校は裏のけがが崩れそうで危なくて避難できなかった。菅沼の集会所へ行ききました。集会所では友だちとカードゲームをしたり、水くみの手伝いなどをしたりして過ごしました。学校が再開されるたびに、先生から中条小学校へ行くように言われました。始めはちょっといやだったけど、来てみたら思っていたより楽しくて安心しました。友だちはみんな元気になってきていますし、新しい友だちもできました。ぼくは6年生なので、卒業式が飛二小でできないのが残念です。今度地震がきたらテーブルの下に隠れて、それから大事なものをだけ持って外に出ようと思います。こんなことは二度と経験したくないと思いました。

忘れられない日 中越大震災、 それぞれの10.23

Part.1

2004年10月23日(土)午後5時56分に発生した中越大震災。その後も震度5以上の余震が続き、市民は避難生活を余儀なくされました。この未曾有の大災害は、恐らくすべての人にとって一生忘れることのできない出来事になることでしょう。

今回の地震では、長期の避難生活や支援物資によるまかないなど、さまざまな体験をしました。その体験を決して無駄にすることなく、今後起こり得る災害に対していかに生かしていくか、それは私たちに課せられた大きな課題でもあります。

さまざまな立場の人から、今回の震災を通して体験したことや感じたことを話していただきました。

しばらくはパニック状態でした。とても立ってられない状態でしたね。そのうち家の向かい側の山が崩れ、ドドドという音が聞こえてきました。これ以上山が崩れてきたらもう終わりだと思い、家族皆で近所の人といっしょに集落入口の安全な場所まで車で避難しました。樽沢では、地震が起きた夜は集落



春日篤子さん
(樽沢・53歳)

の数か所に分かれて避難していましたが、24日午後吉田中学校に移りましたが、しばらくは集落の状況が全く分からず、とても不安でした。避難所では、嫌でも人のプライバシーが見えてしまいます。休日の朝はゆっくりしたいけど、ここではそうはいきません。よく「がんばれ」と励まされますが、こんなときはとても酷な言葉に感じます。仮設住宅で生活するようになれば、ある程度普通の生活に戻れると思っています。これだけの災害が起きたのに、集落の中でけが人も火事もなかったです。早く家に戻りたいですね。



避難指示継続中の樽沢地区30世帯は、11月21日(日)に3回目の一時帰宅が許されました。年内最後となる見込みのため、家財道具に加えて農機具などを持ち出す人も見られました。



あの日は朝から通信指令室で指令業務にあたっていました。地震直後は阪神大震災のニュース映像が頭に浮かび、これから起きるであろう119番通報の嵐に覚悟を決めました。

余震で揺れる中、ヘルメットをかぶり、鳴り続ける救急要請などの通報に対応しました。「何とかしなきゃ」という思いから興奮状態でしたが、それでも「落ち着け」と自分に言い聞かせていました。当初、正確な道路状況が把握できず、活動する隊員に「気をつけて行動せよ!」としか言えませんでした。無線から聞こえてきた「了解!」の声は頼もしかったですね。気が付くと夜が明け、いつの間にか夕方になっていました。

この経験をいかし、大災害にあつていない地域の参考になるような「防災計画十日町モデル」作りの手伝いができればと思います。本日は子どもたちや家族のことが心配でした。そして地震後は、涙もろくなった気がします。



山口光俊さん (十日町地域消防本部・33歳)



橋本文子さん (エフエム雪国・33歳)

十日町へ取材に来てみたら想像以上に大変な状況で、いてもたってもいられなくなりました。7・13水害のとき、燕三条のコミュニティが地域の情報を流していたのでお手伝いしました。そのときの経験が役立ちましたね。

F M雪国は23、24日と南魚沼だけの情報を流しました。同じことを十日町でやろうと思い、アンテナを向けることも考えたんですが電波が届かない。そこでなんとか十日町にアンテナを立てられないかと社内で話し合いました。「災害のときにこそ威力を発揮するのが地域のコミュニティ放送だから」と全員一致で協力体制を組むことにしました。ラジオでは、生活情報を中心に放送していましたが、本当はそれだけでなく、取材に行き大勢の人の声を拾いたかったですね。

放送を聞けなかった人もいたようだけれど、一個のラジオで励まされたという声も聞いています。無くなったものは計り知れないけれど、得たものもあつたはず。それを忘れずにがんばってください。



消防本部の通信指令室は10月から機器入替え工事をしていたため、地震当日はシンプルな機器のみの対応を余儀なくされました。



10月28日から放送を開始した十日町市災害FM。当初、エフエム雪国(六日町)の協力を得て放送していましたが、11月6日からは市役所の職員が交代で放送に携わりました。



宮沢邦元さん (市災害対策本部・35歳)

東京都葛飾区に出張中でした。防災協定を結んでいる葛飾区の職員と連絡を取りながら、すぐに車で十日町に向かい、市役所に着いたのは24日未明でした。

その場にいた職員がかき集められ、早朝から救援物資の整理・運搬が始まりました。何がどのくらい来るのか全く予想できなかったのですが、すでにトラックはひっきりなしに到着していました。

初めは水がたくさん来たんですが、この水がとにかく重い。給水など自分の持ち場を終えた職員も加わり、30人以上で積み降ろしをしたこともあり、人手が少ない夜中に10トントラック数台、数千ケースの水が届いたときには、もう無心で作業するしかなかったですね。待っているトラックがなくなると、正直ほっとしました。

24時間次々と届く救援物資に驚くと同時に、整理・運搬は本当に大変でした。でも、縁もゆかりもない全国の人々から届く物資に、感謝の気持ちでいっぱいでした。



東下組地区では土砂崩れにより6集落が一時孤立し、東下組小学校にはピーク時250人が避難しました。また、10月30日から5日間、自衛隊による炊き出しが行われました。



水落静子さん (願入・45歳)

地震は、夕食の準備をしているときにきました。電気はすぐ消え、台所の水盤につかまっているのがやつとでした。外に避難すると、はだしやパジャマ姿で飛び出した人もいました。家や山が揺れているのが薄闇の中に見えました。すぐに家で5合のご飯が炊き上がっていたのを出し、それを小さいおにぎりにして、



須藤祐太郎さん (十日町高校3年)

新潟県高等学校駅伝競争大会を目前に控えていましたが、地震後は約1週間練習ができず、自主トレをしていました。翌週の水曜日に笹山で練習を再開したけれど、3人しか集まりませんでした。小千谷から来ている部員が2人いて、国道が通行止めで通えなかったの、先生が途中まで迎えに行くなどして、金曜日には何とか全員そろいました。学校が再開された後も、グラウンドの状態が悪く使えなくて、道路を走って練習しました。練習を再開し皆で顔を合わせたときに、こうして「皆で集まることの大切さ」みたいなものをすごく感じました。

地震のため、11月8日の大会が12日に延期になりました。影響は少なからずあつたけれど、それは十日町だけじゃないと思い、精一杯がんばりました。最後の年だったので、3位に入賞して北信越大会に行きたかったです。行けると思っていただけに残念です。地震後のせいか、大会のときはいつもより大勢の声援がありました。うれしかったです。



店の前の大きなガラスが割れ、店内に散乱する破片。ショーケースが壊れなかったことが不幸中の幸いでした。本町通りの商店街では、多くの店が同様の被害を受けました。



村山トミ子さん (本町3丁目・57歳)

1回目の地震後、外に避難しました。3回目のときにはアーケードの中でしたが、商店街のショーウィンドウのガラスが割れる音、外壁や窓枠が落ちる音がものすごく、この揺れが止まったらみんな崩れるんじゃないかと思いました。

店は一か月休みました。地震後は大工さんは来ない、営業補償はない、従業員のこともあり、いつ開店できるのかも分からなく不安で仕方がなかつたです。確信がもてるものが何一つなかったの、すごく落ち込みました。このままうつ病になるんじゃないかと心配になったほどです。11月25日に開店のめどがたつたときにはほっとしました。お客さんが「開店するの待ってたよ」「ケーキを食べたかったんだ」と声を掛けてくれ、本当にうれしかったです。

仕事を休んでいる間、初めてボランティアに行き、初めて人のために仕事をしました。普段ならとてもできないこと、いい経験をしたと思います。

地震で住宅に被害を受けた世帯への支援制度

問合せ 総務課総務管理係 ☎57-3111(内線222)

市では半壊以上の被害と思われる住宅の被害認定調査を進めています。この認定結果により、支援制度の適用を受けることができます。

※居住している住宅の世帯に対する制度であり空家・車庫などの非住家や貸家の家主などには適用されません。

全壊世帯

◎被災者生活再建支援制度が適用できます

国と県の制度があり、世帯の年収が500万円以下の2人以上の世帯の場合は最大で合計400万円の補助があります。

※年収や世帯主の年齢、世帯状況により異なります。

大規模半壊世帯

◎応急修理制度が適用できます

修理により早期に住宅に入居できることを目的としたもので、要した修理費のうち最大160万円を国と県が支払う制度です。

※年収や世帯主の年齢、世帯状況により異なります。また、住宅を解体する場合や仮設住宅に入居する場合は適用できません。

◎被災者生活再建支援制度も適用できます

国と県の制度があり、世帯の年収が500万円以下の2人以上の世帯の場合は最大200万円の補助があります。

※年収や世帯主の年齢、世帯状況により異なります。

半壊世帯

◎応急修理制度が適用できます

修理により早期に住宅に入居できることを目的としたもので、要した修理費のうち最大110万円を国と県が支払う制度です。

※年収や世帯主の年齢、世帯状況により異なります。住宅を解体する場合や仮設住宅に入居する場合は適用できません。

◎被災者生活再建支援制度も適用できます

県の制度で、2人以上の世帯の場合は50万円の補助があります。

※1人世帯の場合は異なります。

義援金を配分します

新潟県と十日町市では、全国からお寄せいただいた義援金を住宅の被害程度などによって配分します。後日、配分のための調査票を全世帯に配布し、提出いただいた調査票により配分しますので、配分のために被災証明書は必要ありません。

地震で重傷を負った人は、落下物による骨折や避難途中での転倒など直接の地震の影響で1か月以上の重傷を負った人は、医師の診断書を添えて12月28日(火)までに総務課総務管理係へ届け出てください。

12月19日(日)

十日町子ども支援スポーツ教室

子どもたちの地震後の不安を取り除き、心の傷を癒すため、著名な講師を招いて見ても参加しても楽しいスポーツイベントを開催します。子どもたちへの一週間早いクリスマスプレゼントです。

スポーツ教室

時間：午後1時～3時(予定)

会場：総合体育館・十日町総合高校・西小学校

- サッカー教室
講師：藤口光紀さん(Jリーグ技術委員長)・Jリーグ選手(予定)
- バレエボール教室
講師：藤田幸光さん(元バレエボール全日本男子コーチ)
- クロスカントリースキー教室
講師：荻原健司さん(ノルディック複合世界選手権メダリスト、参議院議員)

荻原健司スポーツ基調講演会

時間：午後4時～5時

会場：クロス10

※講演会終了後、スポーツ教室の講師や選手たちからサイン色紙や用具のプレゼントがあります。

申込み・問合せ
体育課 2009 国体準備室 ☎52-3103



秋山 桂さん (埼玉県・26歳)

十日町にはどうしても行かなければならないという強い思いがありました。小学校4年生のときから毎年必ず十日町を訪れていたからです。枯木又地区には、この夏も来ました。

10月25日からほぼ1か月間活動してきました。はじめは知り合いの家を拠点にして個人で活動し、被災証明に必要な住宅の写真撮りをしました。その後、27日からはボランティアセンターの活動に加わり、ボランティアに来た人に市民からの依頼を結びつける作業や総務の仕事をしてきました。ボランティアの依頼があれば、どんなことでも引き受けるようにしました。

ほかのボランティアには、笑顔で活動しようと呼びかけてきましたね。また、阪神淡路大震災にボランティアで参加したときもそうでしたが、あえて市民の不満や苦情も聞くことに努めました。

これからも、1人の観光者として十日町市とかかわりを持ち続けたいですね。

地震翌日にボランティアセンターを開設しました。突然のことだったし、こうした経験はもろろん初めてです。何をしていたのか全く分からない状態でした。



長野和明さん (市社会福祉協議会・37歳)

は早いし、本当に驚きの連続でした。経費がとて心配でしたが、それはあとからついてくるという取り合ってくれませんでした。実際そうなるんですからね。それからの1週間は、夜遅くまでボランティアリーダーとその日の状況や翌日の計画を打ち合わせました。

31日はボランティアのニーズが多かった日でしたが、ここを何とか乗り切ったことで自信になりました。ボランティアは、自分の責任で行動してくれました。市民からも多くの感謝の言葉をいただき、私自身がとてもいい経験になりましたね。

●ボランティア活動内容 (11月25日現在)

活動内容	件数
室内片付け	462
障子はり	138
家具移動・片付け	124
物資仕分け・配達	105
ごみ分別・ごみ出し	81
介護・福祉	73
荷物積みおろし	71
室外片付け	65
話し相手	34
崩れた壁片付け	29
避難所支援	19
要望調査	206
広報	84
その他	154
計	1,645



全国のマンパワーが十日町に集結！

十日町災害ボランティアセンター

十日町市災害ボランティアセンターは、十日町市社会福祉協議会が中心となり、東京や神奈川県などの災害ボランティアネットワークの支援を受けながら設置されました。地震発生翌日の10月24日(日)午後からボランティアの受付を開始し、25日(月)には市役所向いのビル1階に本格的なセンターを開設しました。

開設当初は、避難所の支援物資搬入の手伝いや要望調査、ボランティアセンター周知などの活動を行い、避難勧告解除後は、家屋内外の片づけや家財道具の移動などさまざまな活動を行ってきました。また、要望が来るのを待っているだけでなく、町を歩き会話する中で困っていることにその場で対応する「ふれあい隊」

や、市健康福祉課と連携して援助が必要な高齢者を訪問する「お年寄りこんにちわ班」など、積極的な活動も展開しました。11月30日(火)までに受け付けたボランティアは7、833人へのほります。

十日町市災害ボランティアセンターは、11月14日(日)にキナールに移転、さらに12月1日(水)からは市社会福祉協議会内に移転し、規模を縮小しつつ活動を続けています。今後は、緊急的な災害支援から市民の手による生活支援活動を進めていきます。

市民ボランティア募集しています
申込み・問合せ
市社会福祉協議会 ☎50-5010

紹介します！新しい民生委員・児童委員

民生委員・児童委員の改選に伴い、市内では12月1日付けで民生委員78人・主任児童委員7人の皆さんが厚生労働省から新たな委嘱を受けました。平成19年11月30日までの任期中、地域福祉の推進役として活躍が期待されます。なお、皆さんを推薦するにあたり、区域内での調整を基本に①名誉職的な考えを一切持たず相談役として積極的に活躍する人②多様化する福祉ニーズへの理解と熱意を持ち区域の実情に通じた人などを基準としました。

担当者(町名)：地区 ※敬称略

十日町地区 21人

- 池田英一(本町1下 ☎52―3719)
- ：本町1上・1下・東1・西1・2
- 庭野正夫(宮下町東 ☎57―2533)
- ：宮下町東・西、諏訪町、学校町2
- 根津 勲(本町5 ☎52―3880)
- ：本町3・4・5、稲荷町1・2・3東
- 根津正信(本町6―1 ☎52―3405)
- ：本町6―1・2・3
- 田口ユキ(袋町東 ☎57―3502)
- ：袋町東・中・西、昭和町1
- 佐藤良和(栄町 ☎52―4059)
- ：高田町1・2、栄町、寿町4
- 樋口 靖(高田町3西 ☎57―3226)
- ：高田町3西、稲荷町3本通り・3南
- 柳フミ子(高田町3東 ☎52―2768)
- ：高田町3東・3南、丸山町

川治・六箇地区 16人

- 遠田 徳(川治上町第2 ☎52―2793)
- ：川治上町第1・2、川治中町
- 上原敏男(川治下町第1 ☎57―5939)
- ：川治下町第1・2・3
- 齋木宏司(河内町 ☎57―1019)
- ：妻有町東1・西1・2、河内町
- 南雲秀雄(谷内丑第1 ☎57―6225)
- ：川治内後第1・2、谷内丑第1・2
- 笠原ハナノ(北新田第3 ☎57―8257)
- ：北新田第1・2・3
- 雲野武雄(城之古第2 ☎57―3004)
- ：城之古第1・2・3・東町、塚原町
- 宮内孝一(山本町1 ☎52―2673)
- ：山本町1・2・3・4・5
- 梶澤紀子(寿町2 ☎57―3378)
- ：千歳町1・2・3、寿町1・2・3
- 桑原光江(錦町1 ☎57―9001)
- ：錦町1・2、美雪町1・2・3、桜木町
- 小海茂子(高山第3 ☎57―5634)
- ：高山第2・3・4
- 千原紀子(春日町3 ☎52―3939)
- ：春日町1・2・3
- 桑原陽一(高田町5 ☎57―5654)
- ：高田町4・5・6
- 羽鳥孫一(浅之平 ☎57―1797)
- ：関根第1・2、浅之平、笹之沢
- 齋木ちい子(桧木 ☎57―5292)
- ：落之水、池之平、孕石、桧木、長里
- 柳 清一(麻畑 ☎57―8218)

中林辰男(西寺町 ☎57―4428)

：昭和町2・3、西寺町、七軒町、加賀糸屋町、関口樋口町、泉町

庭野亮一(西浦町西 ☎57―8323)

：昭和町4、駅通り、西浦町東・西

今井洋子(稲荷町西 ☎57―2516)

：稲荷町3北・西、西本町1・2

田村功一(下川原町 ☎57―1818)

：西本町3、八幡田町、下川原町

渡辺幸麿(神明町 ☎52―2502)

：神明町、水野町、学校町1、若宮町、田中町東・西

庭野雪子(田中町本通り ☎57―8480)

：田中町本通り、川原町、上川町

櫻井弘志(田川町3 ☎57―4019)

：田川町1・2・3

平野晶子(島 ☎57―6337)

：千代田町、稲荷町4、島

：中村、六箇山谷、麻畑

徳永俊一(船坂 ☎57―0587)

：田麦、二ツ屋、船坂、塩ノ又

吉田地区 8人

渡辺ミツ(吉田山谷 ☎57―6790)

：稲葉、吉田山谷

佐藤輝江(小泉第2 ☎57―5394)

：小泉第1・2・3

春日定次郎(樽沢 ☎57―6619)

：樽沢

小山茂子(北鑑坂第1 ☎57―6641)

：北鑑坂第1・2・3

丸山証三(南鑑坂 ☎57―2042)

：南鑑坂

朝日芳夫(高島第1 ☎57―2972)

：高島第1・2

尾身誠司(鉢第2 ☎57―0642)

：鉢第1・2、中手

小海平太郎(名ヶ山 ☎57―9881)

：中平、名ヶ山

水沢地区 13人

金澤タツ(水沢第3 ☎58―2333)

：水沢第1・2・3、珠川

富井政義(馬場第3 ☎58―2634)

：馬場第1・2・3・4

金澤誠一(太田島第1 ☎58―3779)

：太田島第1・2・3

石澤紀男(土市第4 ☎58―2165)

：土市第1・4

関口カズ子(土市第2 ☎58―3302)

：土市第2

根津昭治(江道 ☎57―5020)

：江道、猿倉、津池、菅沼、大池、赤倉

福嶋林造(新座第1 ☎57―3936)

：新座第1・2

越村 斉(新座第4―2 ☎57―4012)

：新座第3・4―1・4―2

田村六助(本町7―1 ☎57―1039)

：本町7―2、三和町

田口勝利(本町7―2 ☎57―8063)

：本町7―1

小堺 勝(南新田町3 ☎57―3804)

：南新田町1・2・3

太田ノリ子(四日町新田第2 ☎52―4393)

：四日町新田第1・2・3・4

瀧澤眞矢子(四日町第4 ☎57―0242)

：四日町第1・2・3・4

小川信彦(五軒新田 ☎52―3293)

：四日町中原、五軒新田、尾崎

星名武男(中条旭町 ☎57―0193)

：太子堂、中条旭町

大熊ミチ子(上原 ☎57―9035)

：塚田、中条八幡、上原、上原新町

尾身範子(旭ヶ丘 ☎57―8561)

：旭ヶ丘、上町

岡田郁子(中町 ☎57―0364)

高野恒善(土市第5 ☎58―2156)

：土市第3・5

村山ミネ(新宮第2 ☎58―2228)

：新宮第1・2、幸町

根津満男(伊達第2 ☎58―2434)

：伊達第1・2・3・4

井口健二(大黒沢第3 ☎58―3165)

：大黒沢第1・2・3・東、小黒沢

古澤カツ工(安養寺 ☎58―3080)

：安養寺

飯塚利平(水沢市ノ沢 ☎58―2124)

：水沢市ノ沢、中在家、大石

樋口アサ(池沢 ☎58―3417)

：当間、漆島、池沢、野中、鉾柄沢

岩田ハル工(天池 ☎58―3237)

：天池、細尾、池之尻、南雲

：背戸、中町、下町

板橋敏夫(中条島 ☎57―0791)

：中条島、峠

佐藤和人(北原 ☎57―8177)

：梅沢、中条新田、北原、市之沢

藤木公榮(轟木 ☎59―2294)

：嘉勝、轟木、池谷、魚之田川、蕨

平、三ツ山、上田原、焼野

久保田リイ(新水 ☎59―2267)

：新水、宇田ヶ沢、中条菅沼、山新

田、小貫、東枯木又、西枯木又

大淵 民(上新田第3 ☎55―2388)

：上新田第1・2・3

近藤 敦(下条栄町 ☎55―2642)

：上新田第4、廿日城、下条栄町

大嶋隆子(原 ☎55―2077)

：山際、原、岩野

須藤祐男(下条中央通り ☎55―2028)

：下条中央通り、桑原、蟹沢、野田

井川 聖(貝ノ川 ☎55―2617)

：下条本町、貝ノ川

藤巻洋子(新光寺 ☎55―2273)

：新保、水口、下山、新光寺

山口弘治(山根 ☎56―2283)

：為永、山根、仙之山、塩野

水落伊佐生(漣野 ☎56―2036)

：平、漣野、慶地、二子、願入

主任児童委員 7人

- 星野きよ子(田川町1 ☎57―1239)
- ：十日町地区
- 柳 英子(高田町3西 ☎57―8771)
- ：十日町地区
- 堀糸つ子(旭ヶ丘 ☎57―6029)
- ：中条・下条地区
- 水落利子(上新田第1 ☎55―2514)
- ：中条・下条地区
- 太田茂徳(妻有町東1 ☎57―4187)
- ：川治・六箇地区
- 春日ふじ子(樽沢 ☎57―0577)
- ：吉田地区
- 村山 眞(土市第3 ☎58―3260)
- ：水沢地区

民生委員・児童委員の活動

●生活に困っている世帯に

生活保護を必要としている人がいる場合、社会福祉事務所に連絡し、申請手続きも仲立ちをします。

●高齢者・高齢者世帯に

介護保険対象外の高齢者のホームヘルパー派遣や生きがいデイサービス、生活管理短期宿泊、自動消火器などの設置、緊急通報装置貸与、介護手当てなどさまざまな事業を行うため、利用者と介護保険課とのパイプ役になります。

●障害者に

要援護世帯の相談相手となり、身体障害者手帳の申請、更生医療の給付、補装具の交付、更生援護施設への入所など自立への手助けをします。

●母子・寡婦・父子世帯に

収入や住宅、教育、仕事、結婚の問題など、その人にあった制度の紹介などを行います。

●要援護世帯に

除排雪事業の調査・取り次ぎなどを行います。

主任児童委員の活動

児童にかかわる心配ごとなどを、担当区域の民生委員・児童委員といっしょになって家庭や地域、学校などと連絡を取りながら問題解決のお手伝いをします。

雪処理にご注意・ご協力を!

雪おろしに注意

雪おろし作業は安全を第一に考え、足もとには十分注意しましょう。屋根雪などの道路への投げ捨ては禁じられています。やむをえず道路に投げ捨てたときは、速やかに片付けてください。落雪式屋根の軒下には絶対に立ち入らないでください。雪おろしは隣接する家の人に声を掛け、お互いに協力し合いながら行いましょう。

非常口の確保と事故防止

火災などの緊急時に備え、建物の非常口を確保しましょう。防火水槽や消火栓の除雪を行いましょ。家の周囲での雪壁崩落や消雪池・流雪溝への転落事故も少なくありません。十分注意しましょう。

除雪機械に近寄らない

除雪作業中は必ず誘導員の指示に従ってください。除雪作業をするときは必ず誘導員を付けましょう。小型除雪機の事故が毎年多発しています。雪が詰まったときは必ず工

エンジンを停止してから取り除くなど、事故防止に努めましょう。

流雪溝の正しい使い方

- ①作業中は流雪溝のふたが開いていることを知らせるため、赤い旗を掲示してください。作業終了後は速やかにふたを閉めてください。
- ②転落防止のため、ふたに付けてある十字枠は絶対に外さないでください。
- ③道路の中央に設置してある投雪口を利用するときは、必ず誘導員を

置いてください。④河川への多量の投雪は水上がりの原因になるのでやめてください。

みんなで気配り運転

除雪道路は駐車禁止です。除雪作業の迷惑にならないようにしましょう。運転者は水はねなどで歩行者に迷惑をかけるような気配りある運転をしましょう。

降雪・積雪状況により、交通規制が行われることがあります。ご理解ご協力をお願いします。

雪崩にあわないために

気温が低く降雪が続く時期や融雪期には、雪崩が起こりやすくなっています。雪山の登山やスキー場などでは特に注意し、危険な場所には近づかないようにしましょう。雪崩の兆候や危険な場所を見つけたら、すぐに避難して、十日町市雪・水対策課または最寄りの地域振興局地域整備部へ連絡してください。

地震の影響

路面状況が悪化して十分な除雪ができず、圧雪が残ることがあります。通行には十分注意してください。

問合せ 雪・水対策課維持係
☎57-31111(内線271)

NTT・東北電力からお願いします!

- ◆屋根の雪おろし作業をするときは、電線・電話線の切断に注意してください。
 - ◆ロータリー除雪車などで除雪作業をするときは、雪を電線・電話線の方向に飛ばさないでください。
 - ◆変圧器や電線に触れると感電する恐れがあります。電線が切れて路上などに落ちていても、絶対にさわらないでください。見つけたときは至急東北電力までお知らせください。
- 問合せ=NTT-ME新潟六日町支店(☎025-778-1616) 東北電力(株)十日町営業所(☎52-3107)

水道管・蛇口の凍結防止は万全ですか?

冷え込みがきびしくなると、屋外の水道管や蛇口が凍って破裂することがあります。凍結事故による修理費と水道料金は、使用者の負担になります。十分な防寒対策を行いましょ。

- ◆凍結防止対策…凍結しやすい箇所に保温材料を巻いてください(発泡スチロールなど水を吸収しない素材が有効です)。
 - ◆破裂したとき…メーターボックス内の止水栓を閉じてから、指定工事店に修理をお願いしてください。
- 冬期間も検針を行います。メーターボックスの上に物を置かないでください。
- 問合せ=水道局維持係☎57-3111(内線244)

ちょっとした油断が「最大の恐怖」

年末の交通事故防止にご協力を

交通事故防止のポイント

- ・高齢歩行者を認めたら、横断やふらつきを予測して運転しましょう。
- ・夕暮れ時は早めにライトを点灯し、速度を落として慎重に運転しましょう。
- ・飲酒運転は、本人だけでなく家族も巻き込み、家庭の崩壊・身の破滅につながります。飲酒運転は絶対にやめましょ。

過去5年間の市の交通事故発生状況

年	件数	死者数	傷者数
11	249	1	326
12	249	6	293
13	224	4	262
14	225	0	290
15	197	4	251
16	192	8	223

※16年は11月30日現在

夜間歩行者の死亡事故多発

例年11月・12月は、高齢者を中心とした歩行者が被害者になる交通事故死亡事故が多発しています。「高齢者」「横断歩行中」「暗くなってから」という3つの条件は、近年の交通事故死亡事故の特徴です。市内で発生した9月と11月の死亡事故は、この特徴を示しています。ドライバーは「早めのライト点灯」、歩行者は「目立つ明るい服装」を心がけ、事故を起こさない、遭わないように注意しましょう。

飲酒運転を 追放しよう

これからの時期は、忘年会などでお酒を飲む機会が増え、飲酒運転による重大事故の多発が心配されます。市内でも、飲酒が関係している事故が増加しています。ドライバーは飲酒運転の危険性を認識し、「もう酔いがさめたから」「少ししか飲んでいないから」などの甘い考えは捨て、「飲んだら運転しない」を徹底しましょう。また、車を運転する人には酒類を出さないなど、家庭・地域・職場ぐるみで飲酒運転を追放しましょう。

16年1月から11月までの間に、市内で発生した交通事故で8人もの尊い命が失われました。

12月11日(土)から31日(金)までの21日間は、年末の交通事故防止運動期間です。交通事故を起こさないよう、また、遭わないよう運転者も歩行者もお互いに注意しましょう。

十日町市内の交通死亡事故(平成16年11月現在)

日時	場所	事故形態	死亡
2月1日(日) 午前10時ころ	高山	原付バイクと普通乗用車が出会い頭に衝突	50代女性
3月19日(金) 午後10時ころ	大黒沢	車道の端を歩いていた歩行者がトラックにはねられる	50代男性
4月16日(金) 午前7時45分ころ	天池	軽乗用車がコンクリートブロックに衝突	50代男性
5月25日(火) 午前10時05分ころ	小泉	交差点で右折しようとした小型二輪車に普通乗用車が衝突	80代男性
9月4日(土) 午前1時30分ころ	麻畑	県道を走行中の普通乗用車が橋の欄干に衝突	10代男性と20代男性
9月9日(木) 午後9時30分ころ	本町	国道を横断中の歩行者が普通乗用車にはねられる	70代男性
11月26日(木) 午後5時ころ	土市	国道を横断中の歩行者が軽乗用車にはねられる	70代女性



問い合わせ
健康福祉課健康増進係
TEL 57-3111(内線143)

日本一の健康都市をめざして

- 歩けあるけ運動
Ut-door(アウトドア)
- 検診率100%運動
earth(ヘルスチェック)
- 隣近所の声かけ運動
o-connection(オニコン)
- 乳幼児期から、正しい食事をとる運動
at(アイト)

災害後の心のケア

中越大震災のような耐え難い災害体験をすると、だれでもさまざまな心身の反応や症状が現れます。回復のスピードは人それぞれあるものの、これは災害後の正常な反応であり、時間の経過とともに次第に落ち着きを取り戻していきます。

しかし、災害直後は活発に動けても、慣れない避難生活や今後の生活への不安、家族や自分が体調を崩すなどさまざまな状況に置かれると、自分でも気が付かないうちに心にストレスを抱え込んでいきます。

災害後、凶のような反応が長く続くまたは日増しにひどくなる

災害後のストレスによるさまざまな身体反応例

心理面	思考面	行動面	身体面
①感動しない・すぐ泣く	①集中力の低下	①怒りっぽくなる	①頭痛・肩こり
②睡眠障害	②思考力の低下	②興奮したり取り乱したりする	②手足のだるさ・疲労感
③強い恐怖感・不安	③混乱・記憶喪失	③家に閉じこもる	③胃もたれ・下痢・便秘
④孤独感・罪悪感	④無気力	④飲酒や喫煙が増加する	④息苦しい
⑤イライラ・怒り	⑤判断力・決断力の低下		⑤食欲不振

るようであれば、ためらわず専門家に相談してください。また、市では各地区公民館な

どで保健師による健康相談を実施しています。どうぞご利用ください。

青 春 リ レ ー

⑩ 前回の庭野恵さんからバトンタッチ



蕪木良太さん
1982年生まれ
ビア&ワインレストラン サバス勤務

お客様のための料理は難しい

知人の紹介で働き始めて1年半になります。最初の3か月間は見習いとして、仕込みから接客まで修行しました。現在は、サラダやピザなど前菜を担当しています。聞いてはいたものの料理の世界は実際に厳しく、お客様のための料理というのはとても難しいです。まだまだ料理の知識が足りません。やってはいるけど、まだできていないんです。自分は本当に料理ができるのか、葛藤する毎日です。

人と話すことが大好きです。お客様をはじめ、いろいろな人との出会いがあり、たくさんの人と会話できるので楽しいです。もちろん自分の好きにはいかず、大変なこともありますけど。地震のときはちゅう房で準備中でした。落ちてきた皿が頭に当たり、たんこぶができましたよ。結婚式の二次会の予約が入っていて、あと5分違っていたら大変でしたね。

将来は、自分の店を持ちたいです。ちょっとした料理を出しつつ、好きな音楽やファッションを組み合わせ、衣食住の面でも満足できるお店です。どこにもないような楽しめる店にしたいですね。



これは高橋さんの家ですね。近くにアイスクリーム工場があって、隣の村山さんの家の屋根も飛びました。私の記憶の中では一番大きな台風だったと思います。確か吉田地区の被害がすごかったんですよ。家屋の倒壊で1人亡くなりましたから。夜8時ころだったでしょうか、台風の後は大雨でした。室戸岬が上がった台風は必ずここに来るんです。昭和9年の室戸台風のときもこの地で1軒倒壊しました。当時はテレビもないし、ラジオが



二階を吹き飛ばされ全壊した家屋
第二室戸台風により災害救助法の適用を受けました。死傷者7人、家屋の全半壊162棟、被害総額1億9千7百万円でした。

昭和36年9月30日市報災害特集号より



樋口 源一さん (稲荷町3本通り)

あつても聞いている暇なんてなかったですから。本格的な乗用車が市内に3台しかなかった時代です。情報なんて入ってこないです。空を見て、なんか変だぞくらいです。被害があつても、当時の生活が地味だったから、なんとかがやっていたんじゃないかと思えます。データを見ると、昭和9年、36年の室戸台風の時、昭和20年の大洪水のとき、どの年も大雪になつてくるんですよ。因果関係があるんでしょうか。今回の地震では、発生後すぐに囑託員が組長を集めて対策を練った町内があると聞いています。これからは、特に1人暮らしのお年寄りを地域の人が地域で守ることが必要だと思っています。そういう意味でも、70歳以上の高齢者在宅マップ作成の必要性を強く感じています。



いづか たけるちゃん 平成14年1月24日生まれ 稲荷町西

広いところを思いっきり走れるから、ホームセンターへ行くのが大好きなんだ。車と戦いごっこも好きだよ。お兄ちゃんとけんかしたって負けないよ。来年春から幼稚園に行くのが、今からとても楽しみなたけちゃんです。



めいちゃん

飯塚 尊 ちゃん

年末年始の市の業務

- 市役所 12月29日(水)～1月3日(月)は業務を休みます。ただし、市民生活課・健康福祉課・介護保険課・税務課・会計課・水道局の窓口は、29日(水)午前8時30分～午後5時15分(市民生活課と健康福祉課関係は6時)と30日(木)午前8時30分～正午は業務を行います。
 - 公民館本館・各地区館 12月29日(水)～1月3日(月)休館※12月14日(火)から平常業務を再開します。23日(天皇誕生日)は休館です。
 - 博物館 12月27日(月)～1月4日(火)休館
 - 総合体育館 12月28日(火)～1月4日(火)休館
 - 情報館 12月28日(火)～1月4日(火)休館
 - 勤労青少年ホーム 12月29日(水)～1月3日(月)休館
- 【ごみ収集】
12月31日(金)～1月3日(月)は、ごみ収集・焼却場の業務を休みます。12月30日(木)までは平常業務を行います。年末は大変混雑します。ごみを持ち込む場合は早めにお願います。● 焼却場持ち込み時間 12月29日(水)午前8時45分～午後4時45分
- 【資源物回収センター】
12月31日(金)～1月3日(月)は業務を休みます。12月30日(木)までは平常業務を行います。ただし、事業系から排出された資源物の搬入は受け付けません。● 受付時間 12月29日(水)午前9時～午後4時30分
- 【し尿汲み取り】
12月29日(水)～1月3日(月)は業務を休みます。
- 問合せ 10日町地域衛生施設組合 ☎52-3924



取り戻そう！笑顔、元気、希望

クオアチアピッチでキャンプを行ったサッカーJ1チーム、横浜F・マリノスとアルビレックス新潟によるサッカー教室が11月27日(土)に総合体育館で行われました。スポーツを通して子どもたちに明るい笑顔と元気、希望を取り戻してもらおうというものです。当日は、両チームから計6人のコーチが指導にあたり、郡市内をはじめ小千谷市などから小学生約200人が参加しました。教室では、午前4班に分かれてシュートやパス、ヘディング、1対1のコツを学び、午後からはミニゲームで指導を受けた成果を披露しました。

また、11月30日(火)にはアルビレックス新潟の選手たちが西、中条、川治の各小学校を訪問、子どもたちと交流を深めました。

まちの話題 TOKAMACHI TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画人事課広報広聴係(☎57-3111内線213)へ、お気軽にお寄せください。

tokamachi topics

各種手当をお知らせします

児童手当

小学校3学年修了前の児童を養育し、前年所得が一定額を超えない人に、申請した翌月分から支給されます。● 手当月額 第1子・第2子…5,000円、第3子以降(一人につき)10,000円 ● 問合せ 市民生活課 国民年金係(内線151) ※公務員は各職場へ

児童扶養手当

父と生計を共にしていない児童を養育・監護している母または養育者に支給されます。● 支払期間 申請の翌月から児童が18歳到達後、最初の3月31日まで(障害がある児童は20歳まで) ● 対象 ①父母が離婚した児童 ②父が遺棄または死亡した児童 ③父が重度の障害者である児童 ④未婚の母の児童 ⑤父が生死不明の児童など ● 支給制限 母、扶養者などの所得制限あり。母が事実婚をしている場合や遺族年金を受けているときは対象外

● 手当月額 ①対象児童1人で

ありがとう、さようなら！真田小学校

来年3月で閉校になる真田小学校(田中直人校長)の閉校式が11月21日(日)に真田小体育館で行われました。3月は年度末で忙しく雪の心配もあることなどから秋に開催されたものです。卒業生や歴代職員、地区住民など約150人が出席した式では、在校生の尾身勇氣さん、尾身由佳さん、尾身健太さんが四季の学校生活を振り返り、参加者全員で校歌を歌いました。また、3人が感謝の気持ちや来春からの決意を歌にした「ありがとう さようなら 真田小学校」を披露すると、思わず涙する人もいました。明治7年の開校以来、1,500人以上が巣立った真田小も来年、130年の歴史に幕が下ります。



十高空手部女子、全国へ

11月27日(土)・28日(日)に福井県敦賀市で行われた第18回北信越高等学校空手道新人大会で十日町高校が女子団体組手の部で優勝、女子団体形の部で準優勝を果たし、ともに来年3月に福岡県で開催される全国選抜大会出場の内定を手にしました。雲野保美主将は「先生方の指導や保護者の支えのおかげです。この結果に満足することなく、全国大会でも勝ちにいきます。北信越の代表として、中越地区の皆さんの励ましになるようがんばってきます」と抱負を話していました。



全部支給…41,880円、一部支給…所得に依り9,880円～41,870円の10円きざみの額 ②2人目は5,000円を加算 ③3人目以降は1人増すごとに3,000円を加算 ● 問合せ 市民生活課 国民年金係

20歳以上の在宅障害者に支給されます。● 手当月額 26,520円 ● 問合せ 健康福祉課 障害係

特別児童扶養手当

心身に重度または中度の障害を持つ20歳未満の児童を在宅で監護している親または養育者に支給されます。● 手当月額 1級…50,900円、2級…33,900円 ● 問合せ 健康福祉課 障害係(内線133)

65歳未満の重度心身障害児(者)を家庭で介護している人に支給されます。● 手当月額 5,000円 ● 問合せ 健康福祉課 障害係

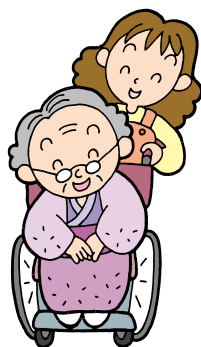
障害児福祉手当

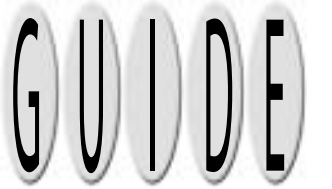
心身に重度の障害があり、常時介護を必要とする20歳未満の在宅障害児に支給されます。● 手当月額 14,430円 ● 問合せ 健康福祉課 障害係

6か月以上のねたきり老人や痴ほう老人を在宅で介護している人に支給されます。※入院・施設入所期間を除く ● 手当月額 5,000円 ● 問合せ 介護保険課おとしより相談係(内線135)

特別障害者手当

重度の障害を2つ以上持つ、





お知らせ・ガイド
市役所 TEL 57-3111

災害情報

埋立てごみの指定袋がありません

地震により埋立てごみの指定袋がなくなりました。1月中旬には販売再開予定ですが、それまでの間は燃やすごみの指定袋を代用してください。●問合せ 十日町地域衛生施設組合 ☎52-3924 市民生活課生活環境係(内線157)

貴重な文化財を守ろう

地震により所蔵する古文書・古典籍・軸額・日記・写真・アルバムなどが被災した場合、保管場所が修復されるまでの間、情報館で預かりします。雨水などにぬれても、乾かせば復元可能な場合があります。貴重な

中越大震災復興祈念 十日町大笑い寄席

笑ってストレスを発散し、元気になるためと、(社)落語芸術協会の協力で寄席を開催します。●日時 12月22日(水)午後3時～6時(2回公演) ●会場 市民会館 ●入場料 無料 ●出演 桂歌丸師匠、三笑亭可楽師匠ほか ●問合せ 公民館本館 ☎57-5011

染織文化祭2004

地震で延期していた染織文化祭です。「桐生産地交流展」伝統が創り上げた技術力」を同

十日町地域の 市外・市内局番が変わります

17年2月22日(火)から、市外局番・市内局番が3けたになります(固定電話すべてが対象)。(例) 現在 0257-57-3111 市役所 変更後 025-757-3111 市内からかけるとき 現在 57-3111 変更後 757-3111

文化財はなるべく捨てないようにしてください。●問合せ 情報館 ☎50-5100

弁護士による 無料法律相談会

県弁護士会による被災者のための無料法律相談会です。●日時 12月12日(日)・19日(日)・26日(日)午後1時～4時(受付3時30分まで) ※予約不要 ●会場 市役所 ●問合せ 県弁護士会 ☎025-222-3765 市民生活課市民係(内線153)

被災した女性のための 電話相談窓口開設

●時間 月～金曜日 正午～午後7時、土・日曜日 午前10時～午後5時 ●電話番号 フリーダイヤル ☎0120-970-077 ●問合せ 県男女平等社会推進課 ☎025-280-5142

奨学金予約採用募集

日本学生支援機構では、被災した家庭の子弟の進学を支援するため、大学・短大・専修学校入学後の奨学金貸与を保証する予約採用を募集します。●問合せ 日本学生支援機構 ☎03-3269-9711

十日町おやこ劇場 おもしろごんどん ナクリスマス会

オペレッタ劇団ともしびの被災地支援公演です。●日時 12月19日(日)午後2時 ●会場 サークロス十日町 ●入場料 無料(全席自由) ●問合せ 水落静子 ☎56-2144

17年度奨学生募集

●対象 次のすべてに該当する人 ①新潟県民の子で4年制大学に進学・在学する人 ②親を亡くした人 ③進学後の学資の支弁が困難な人 ●募集人数 若干名 ●奨学金額 月額2万円 ●返還期間 卒業または貸与終了の翌月から8年以内(年間返還額12万円以上、無利息) ●募集期間 17年1月31日(月) ●資料請求・問



悪質業者に注意!

地震後、市内でも住宅の修理や新築をめぐるトラブルが発生しています。「市内の業者は手が回らない」「急がないと冬までに修理が間に合わない」などの誘い文句にはのらないください。修理などを頼むときは、契約内容や業者名をしっかりと確認しましょう。訪問販売や電話勧誘での契約の多くは、8日以内ならクーリング・オフすることが出来ます。早めに相談しましょう。●相談窓口 県消費生活センター ☎025-281-5515 ※被災地消費生活相談専用電話 (社)住宅生産団体連合会(フリーダイヤル ☎0120-018-288 ※被災住宅補修相談窓口) ●問合せ 市民生活課生活環境係(内線157)



おはなしたまてばこ

読み聞かせ、手遊びなどを行います。●日時 12月16日(木)午前10時～11時 ※1月からは通常通り第2木曜日 ●会場 子育て支援センターくるる ※情報館が



今年度は年始用門松を 配付しません

毎年各世帯に配付していた門松の印刷物は、今年度は配付しません。●問合せ 市民生活課生活環境係(内線157)

自動車リサイクル法が 施行されます

17年1月1日から「自動車リサイクル法」が施行されます。四輪自動車の所有者は廃棄する場合、①県に登録した引取り業者に渡す ②リサイクル料金を負担することになります。●リサイクル料金の負担時期 ①新車購入時 ②次回の車検時まで ③現在持っている自動車を車検を受けずに廃車する場合は廃車時(走行できない自動車でも1月1日以降に廃棄する場合はリサイクル料金がかります) ●問合せ 自動車リサイクルシステムコレクトセンター ☎03-5673-7396 または六日町保健所環境センター ☎0

THANK YOU 寄付ありがとう

11月25日届出分まで (敬称略)

- 地域福祉基金へ＝川泉お客様一同 (1,807円)
- 博物館へ＝飯塚穂野(水野町) 田村泰宏(昭和町3) 渡辺サイ(袋町中) 中林レイ(田中町本通り) 樋口清也(上川町) 小野塚昭二(田川町3) 根津寛二(八幡田町) 竹内幸雄(川治内後) 阿部正年(川治中町) 竹内道雄(四日町2) 斎木新一(南鏡坂) 田辺清五(駅通り) 小海忠美(下条原)

まちづくりに役立っています 簡易保険資金・郵便貯金資金

皆さんが加入している郵便局の簡易保険資金や郵便貯金資金は、道路などの整備に役立っています。平成15年度は、下表のように活用しました。

◆簡易保険資金融資事業 (単位:万円)			
事業名	事業に要した額	融資を受けた額	
豪雪対策事業	道路整備 船坂1・2号線ほか5路線	8,793	6,360
	融雪整備 姿4号線ほか3路線	3,255	1,720
合計	1億2,048	8,080	

◆郵便貯金資金融資事業 (単位:万円)			
事業名	事業に要した額	融資を受けた額	
農道整備事業	広域農道整備当間4号線	5,384	4,840
林道事業	林道薬師線ほか2件	3,128	1,980
臨時地方道整備事業(特定分)	新光寺北原線ほか5件	9,780	8,770
減税補てん債	先行減税分	1,790	1,790
合計	2億0,082	1億7,380	

クロス10・キナーレ 年末年始の営業

クロス10 12月30日(木)までは平常通り営業します。31日(金)は休館です。1月1日(元日)～4日(火)は新春初売り(午前9時～午後5時)を開催します。食堂は12月29日(水)～1月3日(月)は休みます。●問合せ=クロス10 ☎57-2323

キナーレ **明石の湯:** 12月29日(水)は午後1時から10時まで、31日(金)は午前10時から午後7時まで、1月1日(元日)は正午から午後10時まで営業します。**和装工芸館・きもの歴史館・体験工房:** 12月29日(水)は和装工芸館のみ営業します。31日(金)は休館です。1月1日(元日)は正午から午後6時まで営業します。上記以外は平常通り営業します。●問合せ=キナーレ ☎52-0117



防火水槽・消火栓の 除雪をお願いします

火気の使用が多くなり火災が起こりやすい降雪期になりました。各町内などで冬季間の防火水槽・消火栓の除雪を行い、無火災の町づくりにご協力ください。●問合せ 十日町地域消防本部警防課 ☎57-0119

調理師就業届の提出を

飲食店や給食施設で働いている調理師は、2年ごとに就業届の提出が義務付けられており、

スギヒラタケの摂取は 控えましょう

今年度は実施年度です。12月31日現在の就業状況を17年1月17日(月)までに提出してください。●提出・問合せ 調理師会十日町支部 ☎57-0885

スギヒラタケの摂取により、腎機能が低下した人が急性脳症で亡くなった事例に加え、腎機能障害の有無が不明な人の死亡事例も判明しました。原因が究明されるまではスギヒラタケの摂取を控えましょう。●問合せ

●県福祉保健部生活衛生課 ☎025-285-5511

★「ゆずります・ゆずってください」は当分の間、休止します。

まちの文化財

妻有の宝物 ③②

市指定文化財／無形民俗文化財 大の坂



大の坂は、妻有地方に多く伝えられている盆踊り歌の中でも、詞・曲・踊りと三拍子そろった出色のものであり、昭和59年に市文化財に指定されています。

歌詞は、囃しことばを除くと五七五七七の短歌形式になっており、最初の五音が反復されます。大太鼓の伴奏により、音頭取りの独唱と踊り子たちとの掛け合いという形で進行します。この歌が大の坂と呼ばれる理由は、後歌の歌詞に由来していますが、長い囃しことばの中の「ヤレシャホホイ」「ヤレシャカホイ」ということばから、この歌を「大の釈迦」と呼ぶ説もあります。

踊りは、通称「念仏踊り」と言われる通り、静かで緩やかな振りとなっており、長時間踊り続けても疲れなと言われています。そして、踊りの進行役とも言える数人の音頭取りが、踊り子の輪の外に別の小さな輪を作り、踊りながら交替で音頭をとることが、大きな特徴です。

中条地区では、昭和56年に中条大の坂保存会が結成され、盆踊りのみならず各種地域行事で披露されるなど、地域ぐるみの保存活動に支えられて今日に至っています。(文化財課)

編集後記

●震災体験談は想像以上に生々しいものでした。あの状況で、多くの人が自らの責任を果たすために懸命に働いていました。一時は死を覚悟するほどの恐怖を体験した人もいました。深刻になりがちな避難所生活で、いつも明るく楽しく心をかけていた人もいます。人はどんな状況に置かれても、前向きな気持ちでいることが大切なんだと教えられた気がします。とても正月どころじゃないという話も聞きました。1日も早く以前の生活に戻れるよう祈るばかりです。(巻)

●今回の震災で十日町市災害FMが開設され、担当として約1か月間携わりました。始めはFM雪国さんの力を借り、途中からは市の職員が自営で取り組みました。終わりの見えない不安な日々の中で、市民の皆さんへ地域の情報をいち早くお知らせしようと、慣れない仕事に四苦八苦しなうた34日間でした。放送を通して、市内出身越井さんのユニット、ベストパートナーの曲「赤煉瓦」そして、日野スノーマン小塩さんの十日町へ贈る歌「ひとつよりこの2曲を紹介できたことは、皆さんに届けることができた明るい話題だったのではと思っています。(優)

十日町市民の願い
雪の国のきもの町で
今日よりすばらしい
明日を夢みて
今日に限りない
感謝をささげ
今日を人々のために
働けることを
念じてやまない

発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.0257-57-3111 FAX.52-4635
E-mail info@city.tokamachi.niigata.jp URL http://www.city.tokamachi.niigata.jp 編集/企画 人事課 広報広聴係